

“チーム大宮”が目指すもの

学びあい、励ましあい、支えあい

県立大宮高校は、「勉強と部活動等の両立の実践と自主自律の精神の涵養により、高い志と強い使命感を持ったトップリーダーを育成する学校」を目指しています。この実現のために、掲げているもの…それが“チーム大宮”です。

大高生は、将来の在り方生き方と、大学で何を学びたいかを明確にします。第一志望大学をあきらめない強い意志をもって、勉強、部活動をはじめ、あらゆる場面でたゆまぬ努力をします。そしてそれを支えるのが、生徒間や、さらに教師、保護者まで含めた、学びあい、励ましあい、支えあい、の“チーム大宮”なのです。“チーム大宮”は、互いに尊敬しあえる最高の仲間と、素晴らしい学習環境を実現し、これからも大きな成果を上げていきます。



質の高い授業により、実力を高める

一日の中で、学習効果の高い時間帯とはいつでしょうか。私たちは朝から夕方までが効果的であると考えています。この時間帯に、質の高い授業を集中して受けることができれば、確実に実力を高めることができるでしょう。大高の教員は、授業研究の研修を日々行い、生徒からの授業アンケートの実施や、教員相互の授業見学を通じて、より質の高い授業の充実をはかっています。



自ら学び、自ら考える

本校生徒の多くは、塾や予備校に行かずに高校生活を送っています。各教科が実践しているプログラムは、3年後を見越して構築されています。テキストや副教材については、その導入時期や量など、経験や結果に基づいて考え抜かれたものばかりです。それゆえ、生徒は日々の課題や予習・復習を真剣に取り組むことで、十分な効果が得られるようになるのです。また、長期休業中の講習や3年次の学習合宿をととして、実践力をさらに高めていくことができる環境が、ここには整っています。



高い目標を持ち、ともに競いあう仲間がいる

受験勉強は孤独な戦いと思っている人もいるのではないのでしょうか。先が見えない不安から、ストレスを感じる人も少なくありません。大高では、共通の高い目標を持つ仲間がすぐそばにいて、教室や廊下などのあらゆる場所でお互いに切磋琢磨できます。そのように、意欲的に日々の教育活動に取り組むことで、あらゆる目標を実現できる力を身に付けることができます。



卒業生が東大総長大賞を受賞しました!!

卒業生の柏倉沙耶さんは、H29年度の東京大学総長大賞を受賞し、さらに《在学中の活動実績や学業等が特に顕著であると認められた者》として東大総長大賞に輝きました。



柏倉沙耶さんコメント

この度、H29年度東京大学総長大賞を受賞しました、H24年度大宮高校卒の柏倉です。高校在学中は大宮高校のスローガンでもある「文武両道」を目指し、吹奏楽部で全国大会に出場する傍ら、勉学に励んでいました。そして、多くの失敗を通して、自らの考えや信念を持ちつつ、周りからのアドバイスにも耳を傾け、ときには外の世界に出掛けて、今自分がいる場所を客観的に見つめることの大切さを学ばせていただきました。今、そして未来のチーム大宮の皆さんが、大宮高校でのそれぞれの学びを糧にご活躍されることをお祈りします。



社会に貢献し、グローバルに活躍するために

トップリーダーを目指して

大宮高校(大高)は、今年創立95年目を迎えた、長い歴史と伝統を誇る高校です。大勢の生徒が「自主自律」と「文武両道」をモットーに、学習・部活動・学校行事に積極的に取り組んできました。現在も、「授業中心、難関大学に現役で合格、勉強と部活動の両立」を基本とし、生徒、保護者と教職員が「チーム大宮」として日々の教育活動に意欲的に取り組んでいます。グローバル化に対応する国際理解教育については、平成8年からドイツ姉妹校との相互交流事業を中心に進めています。

このような取組みを通して、大高生は大学入試に対応する高い学力はもちろん、将来世界で活躍するための基盤となる教養や知識、思考力・判断力・表現力、さらには、周囲と協働して活動する力や態度を身に付けていきます。数多くの卒業生が社会のあらゆる分野で目ざましい活躍をしています。

中学生の皆さん、高校合格は、一つのマイルストーンでしかありません。私たち大高の教職員は、生徒一人一人の夢を実現するため、そして将来日本をリードし国際社会に貢献するトップリーダーとなるため、高校3年間だけでなく、5年後、10年後を見通して指導にあたっています。

中学生の皆さん、大高で充実した高校生活を送ってみませんか。大高は志ある皆さんを待っています。



校長 加藤 秀昭